

農業の新しい技術

No. 680(平成27年5月)
分類コード 02-05
熊本県農林水産部

トルコギキョウ切り花の日持ちを向上させる 収穫後の管理体系

農業研究センター 農産園芸研究所花き研究室
担当者：工藤陽史

研究のねらい

切り花では日持ちの良さが求められる。トルコギキョウは、収穫後の切り花にエチレン生成阻害剤（チオ硫酸銀：以下 STS）を用いた前処理で日持ちが向上し、糖を吸収させることで生け花後の開花が良いことが明らかにされている。そこで、収穫後の切り花管理が日持ちに及ぼす影響を明らかにして、日持ちを向上させる収穫後の管理体系を構築する。

研究の成果

1. 収穫後の水道水による水揚げは、前処理効果を低くする。（成果情報 671）。
2. 前処理および湿式輸送時の温度は、15℃以下で 20℃、25℃に比べて日持ちが長い。（成果情報 672）。
3. 前処理剤は、高温期の収穫では STS と糖が主成分の水揚げ剤、低温期の収穫では STS が主成分の水揚げ剤で日持ち向上の効果が高い（成果情報 673）。
4. 湿式輸送では、前処理に STS が主成分の水揚げ剤、輸送時の水揚げに栄養補給剤を用いると日持ち向上効果が高い（成果情報 673）。
5. 生け花時後は、栄養補給剤の使用で2週間の日持ちが確保される（表1、図1）。

以上のことにより、トルコギキョウ切り花の日持ちは、①収穫直後の水揚げを STS が主成分の前処理剤（例：クリザール K20-C）で行い、②調整後の前処理を乾式輸送の夏秋出しでは STS と糖類が主成分の前処理剤（例：クリザールユーストマ）、湿式輸送の冬春出しでは STS が主成分の前処理剤を 15℃以下で使用し、③湿式輸送中の水揚げに栄養補給剤（例：クリザールプロフェッショナル2）を用いると向上する。さらに実需者が栄養補給剤で後処理を行うと2週間の日持ちが可能である（図2）。

普及上の留意点

1. 日持ち試験（生け花）は、25℃設定、日長 1,000Lux×12 時間照明の恒温室内で、生け水に水道水を用い毎日交換した。
2. 試験で利用した前処理剤
 - クリザール K-20C：主成分がチオ硫酸銀の生産者用切り花鮮度保持剤
 - クリザールユーストマ：主成分がチオ硫酸銀、糖類、抗菌剤の生産者用切り花鮮度保持剤
 - クリザールバケット：生産者用の栄養剤を含まない湿式輸送時生け花用
 - クリザールプロフェッショナル2：一般業務・輸送用（遅咲き用）の水揚げ促進・栄養補給剤

表1 後処理剤の有無が日持ちに及ぼす影響

	後処理の有無	日持ち日数
産地A	なし	7.0日
	あり	14.0日
産地B	なし	7.4日
	あり	15.0日

注1) 試験概要

産地A：品種「コロゾーサ」（八重咲・中晩生品種）、トラック輸送
収穫日11/16、出荷日11/17、試験開始日11/19

産地B：品種「コロライトピンク」（八重咲・中晩生品種）、トラック輸送
収穫日10/21、出荷日10/22、試験開始日10/24

日持ち調査：実施機関 大田花き
環境 温度25℃、湿度60%、日長1,000Lux×12時間

後処理剤：クリザールプロフェッショナル2

注2) 日持ち日数：半数以上の小花が萎れか著しい退色を起こすか
花首が折れて鋭角になり観賞価値を失うまでの日数



後処理なし

後処理あり

図1 後処理の有無が日持ちに及ぼす影響

注1) 表1の産地A、生け花5日後（市場到着5日後）

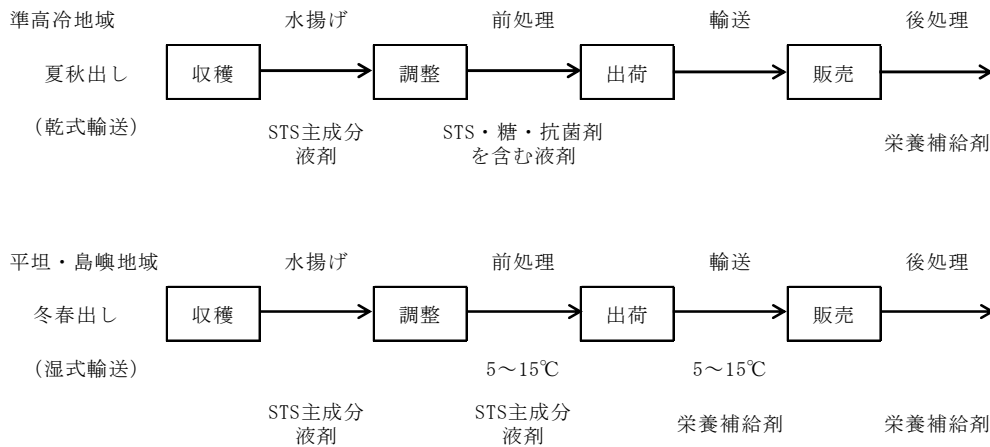


図2 トルコギキョウ切り花の収穫後管理体系モデル

※水揚げは、花シミ発生抑制のため20℃より低い温度が望ましい



前処理: 水道水
輸送: クリザールバケツ



前処理: クリザールK-20C
輸送: クリザールプロフェッショナル2

図3 前処理と輸送時の水揚げ剤が切り花の日持ちに及ぼす影響

注1) 生け花11日後